

少年三段の部 優勝者

今年の安来節全国優勝大会・少年三段の部の唄と鼓で優勝でき、とてもうれしいです。受験生なので、練習不足で不安な気持ちでいっぱいでしたが、祖母から「楽しんでおいで」と言われ、いつも通り落ちついて出来ました。私が、優勝出来たのは、基本をしつかり教えてくれた両親のおかげだと思っています。それから一緒に習っている姉妹がいるからです。ありがとうございます。そして一番喜んでくれたのは、家で応援してくれた祖母です。

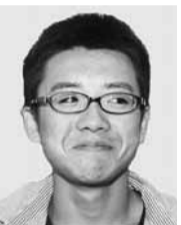


河本ことみ (松山支部)

唄・鼓

この日のために祖母は浴衣を買ってくれました。私はとても幸せだと感じました。私が安来節を習い始めたのは、小学一年生の時でした。それから毎年、全国大会に出場して来ました。今年で九年目です。初級の頃から入賞して来ましたが、やっぱり最上級の三段で優勝出来たのは、特別にうれいしいです。大会の三日間はたくさんの方々の安来節を聴き、すごく勉強になりました。「私もこの人の様にうまくなりたい」と思いました。来年からは私も一般の部になります。これからも一生懸命、頑張ります。そしてまた家族で安来節全国優勝大会に出場出来るように頑張ります。本当に優勝させて頂き、ありがとうございます。

今年で五回連続の優勝をさせて頂き、少年の部の最後を悔いなく終われた事を本当に嬉しく思います。仁多支部の皆様や三代目出雲愛之助先生や大東支部の皆様、その他多くの先生方のご指導のおかげだと思えます。また、支えてくれた家族や応援してくださった方々に感謝しています。今年、少年の部の最後となる三段の部に出場し、踊りは「優勝しかない」そう思いま



藤原恵太 (仁多支部)

踊

した。そのためにも練習では細かい動きや表情をより意識して踊りました。特に本場に田んぼに入って、どじょうを掬うという流れをイメージし、この動きを本場にやったら、そう簡単には出来ないだろうと意味を考えました。そして、同じ様に表情も見ている人が思わず笑顔が出るような踊りになるよう考えました。来年から一般の部になります。今更以上努力していきたいと思っています。そして何より見ている人に元気を与えられる踊りをやっていきたいと思えます。この度は、本当にありがとうございました。

師範の部 優勝者



佐藤さおり (加茂支部)

唄

この度の安来節全国優勝大会師範の部・唄で夢であった優勝をさせて頂きました。本当にありがとうございます。安来節をはじめ十五、月日を重ねることに安来節の魅力はますます広がっています。私が安来節をはじめたきっかけを作ってくださり、生々しい私に辛抱強く、ご指導くださった出雲俊之助先生はじめ加茂支部の皆様、アドバイスをたくさんくださった諸先輩方のおかげでここまで頑張ることができました。また、安来節を世に広め活躍された先人の方々や安来節保存会を発足させ、後世への育成、保存に尽力された方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年ひき続き、今回で三度目の優勝をさせて頂きました。今までは違い、大変なプレッシャーを感じた大会だったので、優勝と知ってからは「やれやれ」といった安堵感一杯でした。思い返せば平成十一年頃だったでしょうか、津軽三味線が習いたくて知り合いに紹介してもらったのが五代目富田徳之助師匠でした。十一年間津軽三味線を習いましたが、「富田流宗家に付いての何で安来節を習わないの？」とあちこちで言われ始め、自分も十一年やっただからそろそろ方向を変えてもと思いつき、平成二十二年より正式に安来節三味線を習い始めました。そしてその年に師範に昇格し、二十三年に初優勝しましたがその時の「これからが大変だぞ」との師匠の言葉通りに悩みました。以来師匠の暖かいご指導と周りの皆様のご支援により今日に至っております。この優勝を機に益々精進し、技量向上に努めて参りたいと思えます。五代目徳之助師匠、そして皆様大変ありがとうございます。



富田修徳 (智頭支部)

絃

今回、鼓と踊りで挑戦させて頂き、この様な栄誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。これもひとえに今までご指導していただいた師匠である出雲俊之助先生をはじめ、支部の皆様、諸先輩方、また踊りの方では、三代目出雲愛之助先生をはじめ、大東教室の諸先生方のご指導のおかげだと心より感謝しております。そして陰ながら支えてくれた家族の理解があつてこそなしたものと感謝致します。私の安来節は踊りと鼓から始まりました。あれから今まで皆様のご指導のもと、日々の練習の成果が結びついた結果であり、私にとつて何にも代え難い喜びになりました。安来節を今更やっつけてい本場に良かったなと心から思います。これからもまだまだ沢山勉強する事がありますが、いつもお世話になっている先生、諸先輩方、応援して下さい。そして、この賞に甘んずることなく一層の努力をし、諸先輩方を目指して日々精進して参りたいと思えます。どうか今後とも変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



和田亮太 (加茂支部)

鼓・踊

事務局からのお知らせ

安来節のしおり (平成28年度版) に誤りがございました。追加、訂正してお詫びいたします。

- 【追加】
 広島支部 P147
 ◆三級 踊 新田長子
- 【訂正】
 大江戸支部 P163
 ◆准師範 絃 渡部直美、福脇昭、森地
 ◆准師範 鼓 渡部直美、福脇昭、森地
- 東京支部 P166
 ◆初段 鼓 ↓ 井沢英夫
 ◆二段 鼓 ↓ 井沢英夫

銭太鼓の部 優勝チーム

本部道場の皆さん



代表 岩田彩代

この度は、優勝という最高の賞をいただき、ありがとうございます。練習では、打ち手八人が息を合わせ、揃った銭太鼓をする事、入場から退場までの姿勢や礼など基本的な動作の一つひとつが大切になるという事を教わり、大会に向け繰り返し練習を行って来ました。本番では気持ちを一つに舞台上に立ちました。「本部道場がんばれ」という沢山の声援と勢いのある伴奏、唄声にのり、集中して打つ事ができ、このような賞を頂く事につながったと思えます。最後になりましたが、予選会から本番までの期間、お忙しい中、ご指導くださった先生方、唄・絃・太鼓で支えてくださった先生方、応援してくださった本部道場の皆様、本当にありがとうございました。

団体の部 優勝チーム

加茂支部の皆さん



代表 陶山朋之

今年度の優勝大会では、平成十八年の加茂支部初優勝以来、十年ぶりに二度目の団体優勝をさせて頂きました。個人的には、初優勝の時は姉と一緒に、今回二度目の優勝は嫁と一緒に団体戦のメンバーとして出場できたことを非常に嬉しく思っております。これもひとえに、支部長の出雲俊之助先生を始め、諸先生方、支部の皆様方のおかげと感謝すると共に、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございます。プログラムも出来上がり、当初は、大会最終日の大取という事で、嫌な緊張をするのではないかと思っておりましたが、蓋をあけてみれば、終始リラックスモードの中、今年一番の出来が本番で出たのではないかと思っています。今大会で加茂支部は、個人・団体ともに、過去に類をみない好成績をいただきましたが、これに奢ることなく、そして、一番大切な音を楽しむ事と忘れずに、更にお礼を申し上げます。今後とも益々のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。最後にありがとうございました。お世話頂きました安来節保存会事務局の皆様、本部道場の皆様、関係者の皆様、三日間本当にありがとうございました。

「平成28年熊本地震」に義援金を寄付しました

このたびの熊本地震により被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。当会は、7月12日、熊本地震で被災された皆様の支援および被災地の復旧・復興に役立てていただくため、安来社会福祉協議会を通じて、会員の皆様から募った義援金882,064円を熊本県共同募金会に寄付させていただきました。